

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。
<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日 製造番号 (NO.)

販売店 (TEL)

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00~18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟18階)
電動工具ホームページ——<https://www.hikoki-powertools.jp>

HIKOKI

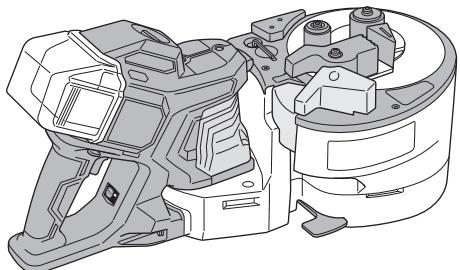
取扱説明書

コードレス鉄筋カットベンダ 16 mm VB 3616DA

用途

- コンクリート補強用に使用する鉄筋の切断および曲げ作業

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに	コードレス工具の安全上のご注意	1
	本製品の使用上のご注意	5
	ラベルの説明	7
	リチウムイオン電池の使用上のご注意	9
	各部の名称	10
	仕様	11
	標準付属品	12
	別売部品	13

使い方	機体のすえ付け	14
	蓄電池の取付け・取りはずし	15
	スイッチの操作について	16
	カッタ、曲げローラーの逆回転方法	17
	1充電当たりの作業量について	18
	警告シグナルについて	18
	切断する	19
	曲げる	23

その他	保守・点検	27
	故障診断	29
	ご修理のときは	裏表紙

⚠️警告、⚠️注意、注の意味について

- ⚠️警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠️注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- 注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠️注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠️警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。

③ 保護メガネを使用してください。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

④ 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠️警告

⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑥ 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑦ 指定の付属品や別売部品を使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠️注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- コードレス工具を、温度が50°C以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
能力以上の使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ・大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
- 転倒して、けがの原因になります。

⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- ・付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- ・コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

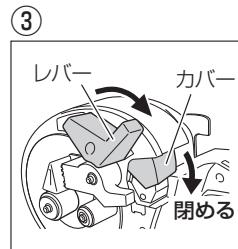
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス鉄筋カットベンダについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業中および保守・点検の際は、周りの人にも保護メガネを使用させてください。
鉄粉が目に入る可能性があります。
- ② 仕様欄にある機体の能力を超えた作業はしないでください。
また、PC 鋼などのかたい材料を切断したり、曲げたりしないでください。
機体の故障や、事故の原因になります。
- ③ 切断作業時以外は、カッタ部のカバーを閉めてください。
カバーを開けたままにしておくと、カッタ部に異物を
かみ込む恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ スイッチを操作する際には、カッタ、反力受け部
および曲げローラー部には手を近づけないでください。
- ⑤ 連続使用後は、インナカバー やギヤカバーには手を触れないでください。
機体を連続で使用すると、インナカバー やギヤカバーが熱くなる場合があります。
- ⑥ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、
直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理
を依頼してください。
- ⑦ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やカッタなどに破損
や亀裂、変形がないことを点検してください。
けがや発煙、発火の原因になります。
- ⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないよう
にしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていることを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにして
ください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置
しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないで
ください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。



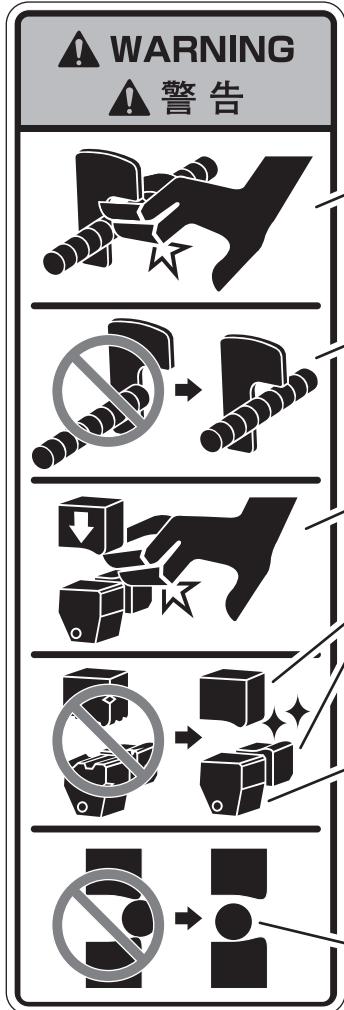
⚠ 注意

- ① 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい
警告ラベルと取り換えてください。
警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。
- ② スイッチパネルに強い衝撃を与えると、破いたりしないでください。
- ③ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

ラベルの説明

機体に貼り付けてあるラベルについて説明します。
よくお読みになり、正しくお使いください。

警告ラベル(切断)



警告ラベル(曲げ)



警告ラベル(バッテリーカバー)



リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであります。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。

速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。

スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。

蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かけなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

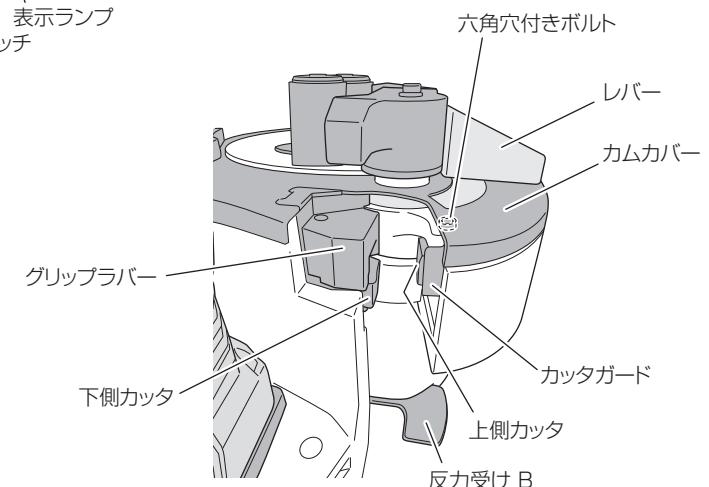
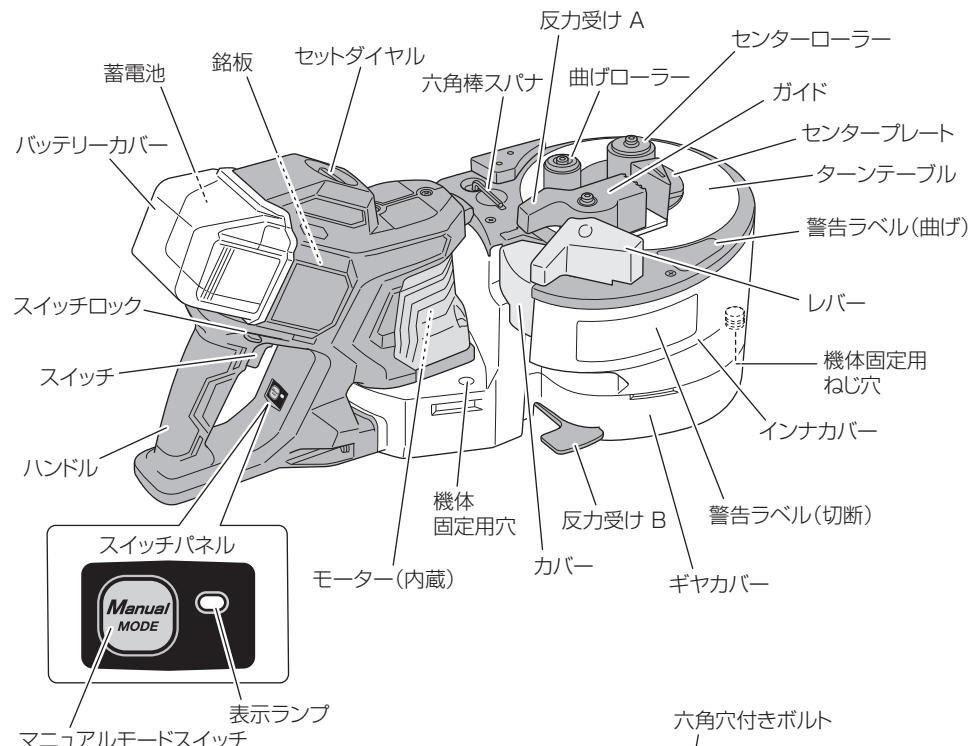
再びご使用になります。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

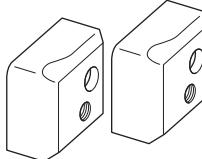
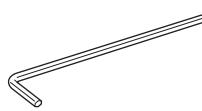
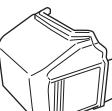
各部の名称



仕様

形 名	VB 3616DA	
モーター	直流ブラシレスモーター	
能 力	材質 SD 295、SD 345 鉄筋、D 10、D 13、D 16	
同 時 に 加 工 で き る 本 数	切 断	D 10 mm : 2 本 D 13 mm : 1 本 D 16 mm : 1 本
	曲 げ	D 10 mm : 3 本 D 13 mm : 2 本 D 16 mm : 1 本
寸 法 全 長 × 高 さ × 全 幅	510 × 255 × 230 mm	
質 量	18.8 kg [BSL 36A18X 装着時]	
電 池 電 壓	36 V	
使 用 可 能 蓄 電 池	マルチボルトタイプ蓄電池	

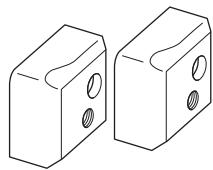
標準付属品

品 名	仕 様	XPZ	NN
カッタ (本体装着)		1 セット	1 セット
六角棒スパナ (本体装着) (M 5 六角穴付ボルト用)		1 本	1 本
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。		1 個	—
バッテリーカバー (本体装着)		1 個	1 個
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
電池カバー		1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

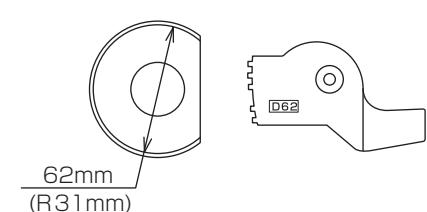
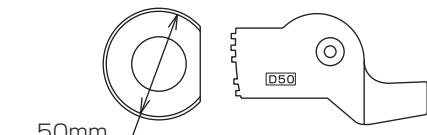
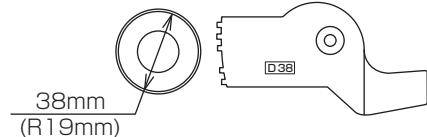
カッタ
(1セット2個入り)



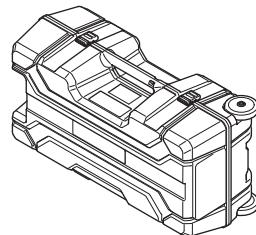
センターローラーセット

センターローラーの摩耗交換の場合は、D 38 セットを選んでください。
ほかにも D 50、D 62 の曲げ半径サイズを揃えています。

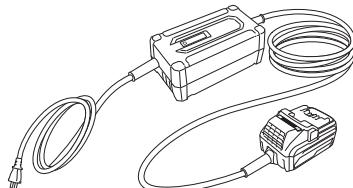
製品名	仕様
D 38 セット	標準付属 (曲げ半径 : R 19)
D 50 セット	曲げ半径を R 25 へ変更
D 62 セット	曲げ半径を R 31 へ変更



収納ケース



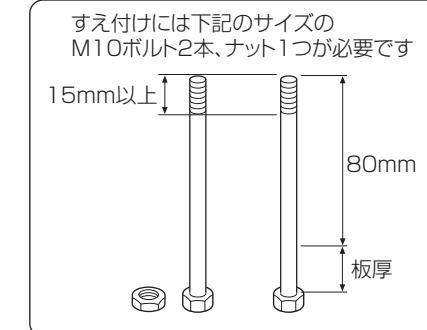
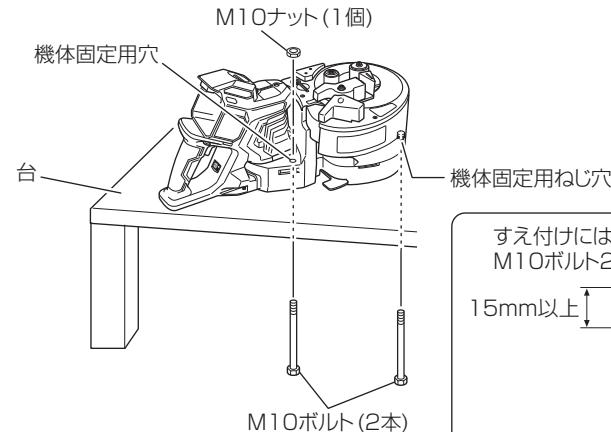
AC/DCアダプタ (ET 36A)
AC 100 V を DC 36 V に変換して、AC 工具のように使用することができます。



機体のすえ付け

本製品を使用する際は、床や地面の安定した所に置いてください。

機体固定用穴が機体中央に1か所と、ねじ穴がインナカバ一切り欠き部に1か所あります。
機体を作業台などに固定してすえ付ける場合は、使用してください。

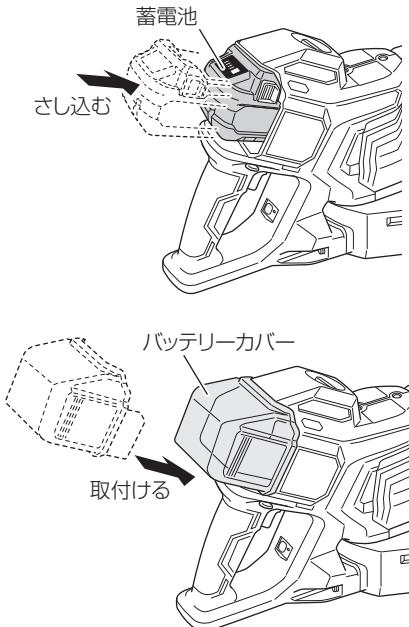


蓄電池の取付け・取りはずし

取付けるとき

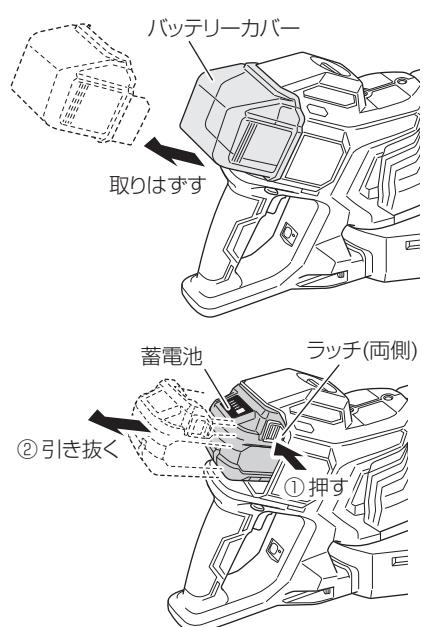
「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。

その後、バッテリーカバーを取付けます。



取りはずすとき

バッテリーカバーを取りはずします。
両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



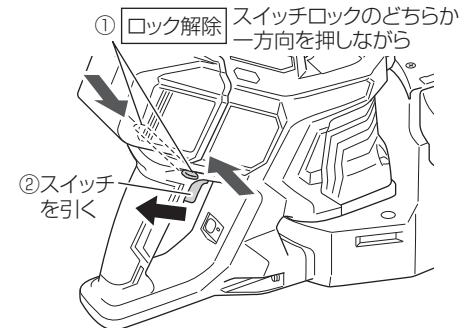
注 作業するときはバッテリーカバーを装着してください。
鉄筋の破片が電池端子部に入り込むと故障の原因となります。

スイッチの操作について

本製品は、不意なスイッチ操作を防止するために、スイッチロックが付いています。

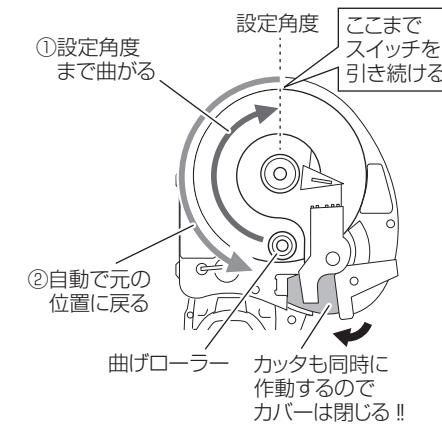
スイッチロックを矢印のどちらか一方向に押しながらスイッチを引くと、モーターが作動を開始します。

スイッチが入った後は、スイッチロックをはなしても、スイッチを引いているかぎり作動を続けます。



①の範囲でスイッチをはなすと、作動にブレーキがかかり停止します。
カッタや曲げローラーを元の位置に戻すには、P.17「カッタ、曲げローラーの逆回転方法」を参照してください。

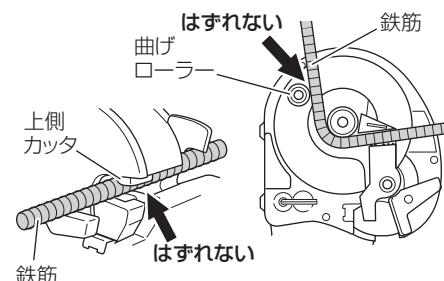
②の範囲でスイッチをはなすと、上側カッタや曲げローラーは、自動で元に戻ります。

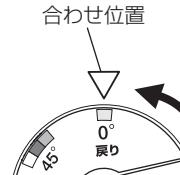
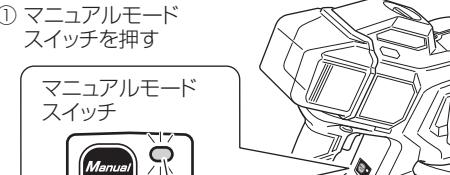
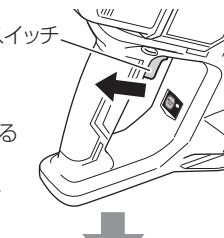


カッタ、曲げローラーの逆回転方法

作業中にスイッチをはなした場合、カッタや曲げローラーが静止して鉄筋が挟まり、はずせなくなる場合があります。このようなときは、モーターを逆回転させカッタや曲げローラーを元に戻します。

途中でカッタや曲げローラーを戻すには、下記の2通りの方法があります。



セットダイヤルを「戻り」に設定	マニュアルモードスイッチを押して戻す
<p>① セットダイヤルを戻りの位置に合わせる</p>  <p>② もう一度スイッチを引く 逆回転モード 戻り始めたら、スイッチをはなしても元の位置まで戻ります。</p> 	<p>① マニュアルモードスイッチを押す マニュアルモードスイッチ 赤ランプ点灯</p>  <p>② もう一度スイッチを引く 逆回転モード スイッチを引いている間だけ戻ります。元の位置まで戻ると止まります。</p>  <p>③ 元の位置に戻ったらマニュアルモードスイッチを押す 正転モード</p>  <p>注 逆回転モードのままでは動きませんので、マニュアルモードスイッチを押して逆回転を解除してください。</p>

1充電当たりの作業量について

作業量は、材料のバラつき、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

(蓄電池 BSL 36A18X 使用時)

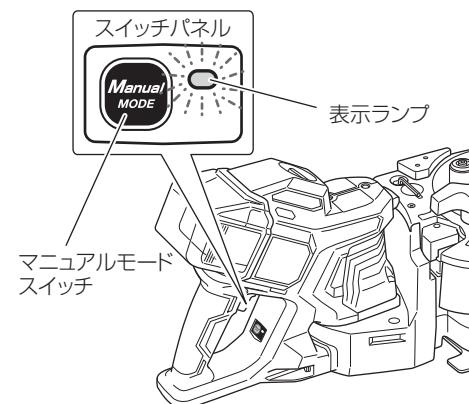
切 断	D 10 / SD 295	2本同時切断	350 本	
	D 13 / SD 295		170 本	
	D 16 / SD 345		130 本	
曲 げ	D 10 / SD 295	90°	3本同時曲げ	630 本
	D 13 / SD 295	90°	2本同時曲げ	310 本
	D 16 / SD 345	90°	1本曲げ	140 本

警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いています。

作業中に各保護機能が作動すると、スイッチを引いている間とスイッチをはなしてから約3秒間、マニュアルモードスイッチの表示ランプが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



保護機能	ランプの表示	対処方法
過負荷保護	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯 (速い点滅)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 ■ ■ ■ ■	工具本体および蓄電池を十分に冷ましてください。

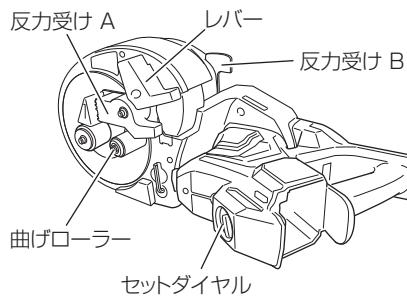
切断する

⚠警告

運転中は、カッタや反力受け A、B 部に手を近づけないでください。

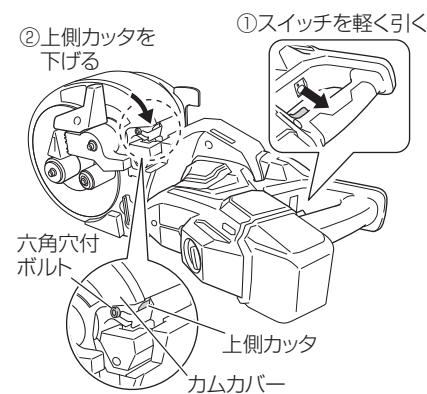
●カッタとグリップラバーの点検

1 機体を下図の姿勢にする

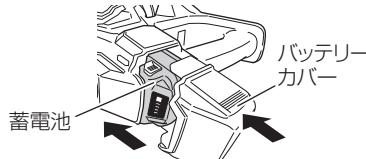


4 上側カッタを下げる

スイッチを軽く引いて、上側カッタをゆっくり動かします。上側カッタがカムカバーの外に出てきて、六角穴付きボルトが完全に見える位置になったら、スイッチをはなしてその位置で停止させます。

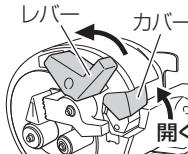


2 蓄電池とバッテリーカバーを取り付ける



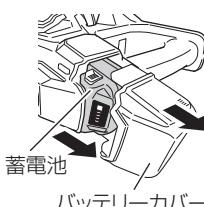
3 カバーを開ける

レバーを矢印の方向に回し、カバーを開けます。



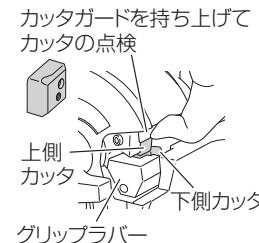
5 バッテリーカバーと蓄電池を取りはずす

誤ってスイッチを引いて作動することを防ぎます。

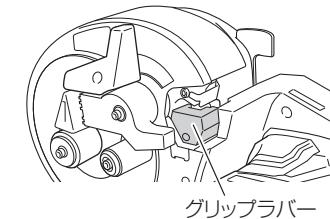


6 カッタに異常がないことを確認する

カッタに、摩耗・変形・欠け等の異常がないことを確認してください。
交換が必要な場合は P.22「カッタの交換」を参照してください。



8 グリップラバーが摩耗していないか確認する

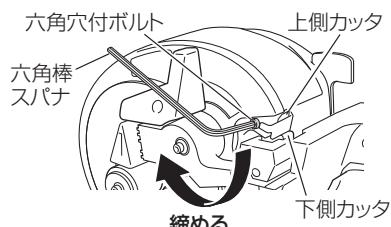


9 スイッチロックがロック状態であることを確認する



7 カッタの締付けを確認する

六角穴付ボルトがしっかりと締付けられていることを、付属の六角棒スパナで確認してください。



10 蓄電池とバッテリーカバーを取り付ける



●切斷

P.19の手順①～⑩の後、以下に従ってください。

△警告

- ・切斷作業中でも、曲げローラーが動いています。手を近づけないでください。
- ・鉄筋 (SD 295、SD 345) 以外の材質を切斷しないでください。材料が折れて飛散するなどの恐れや、機体の破損の原因になります。
- ・切斷作業時、鉄筋は反力受けB部に確実にかけて作業をしてください。また、反力受けB部にかける鉄筋の長さは十分に確保してください。



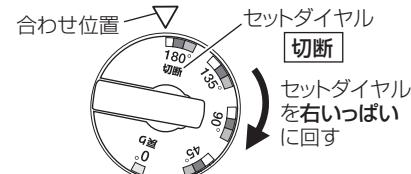
- ・切斷作業時、鉄筋はカッタの中央または奥に正しくセットしてください。カッタの端部にセットしたまま切斷作業をすると、鉄筋の飛散や、カッタ、機体の破損の原因になります。



△注意

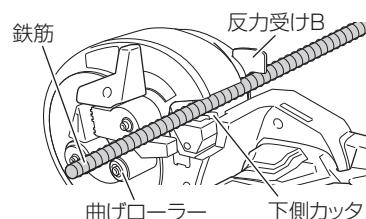
- D 16 mm、D 13 mm の2本同時切斷はしないでください。
機体破損の恐れがあります。

1 セットダイヤルを「切斷」の位置に合わせる



2 切断する鉄筋を下側カッタの上にセットする

反力受けB部にかける鉄筋の長さは十分に確保してください。



3 切断する

スイッチロックのどちらか一方を押して、ロックを解除し、スイッチを引いて鉄筋を切断します。

鉄筋の切斷を終了しても、モーターが逆回転して上側カッタが戻り始めるまでスイッチを引き続けてください。

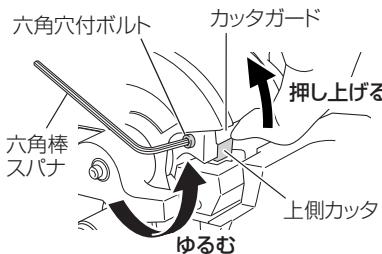
●カッタの交換

P.19の手順①～⑤の後、以下に従ってください。カッタは上下セットで交換してください。

1 カッタを取りはずす

付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトをはずすと、上側、下側カッタを取りはずせます。

上側カッタの取りはずし



上側カッタはカッタガードを押し上げるとはずしやすくなります。

下側カッタの取りはずし



下側カッタは、マイナスドライバでこじるようにするとはずしやすくなります。

2 カッタ取付け部に付着している鉄粉を掃除する

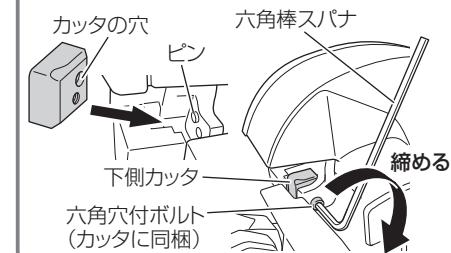


3 カッタを取付ける

新しいカッタの穴とピンの位置を合わせて、取付け部に入れます。

付属の六角棒スパナで六角穴付きボルトをしっかりと締付け、カッタを固定してください。

六角穴付ボルトは、カッタに同梱されている新しい物に交換してください。



4 蓄電池とバッテリーカバーを取付ける

空運転をして、動きに異常がないことを確認してください。



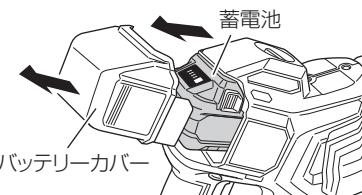
曲げる

●通常の曲げ方法

!警告

- ・鉄筋 (SD 295、SD 345) 以外の材質を曲げないでください。
材料が折れて飛散するなどの恐れや、機体の破損の原因になります。
- ・D 10 mm 鉄筋は 3 本以下、D 13 mm 鉄筋は 2 本以下、D 16 mm 鉄筋は 1 本ずつ
曲げてください。

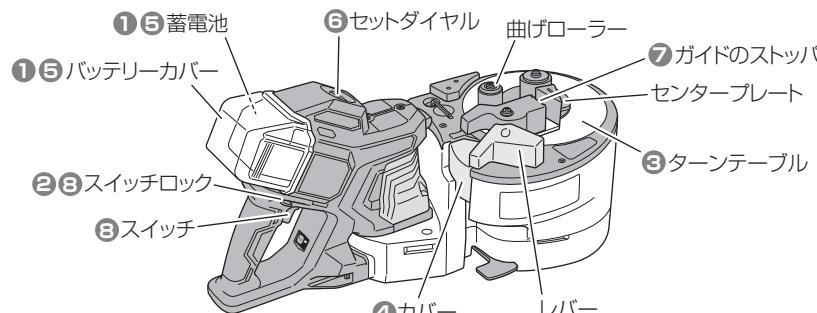
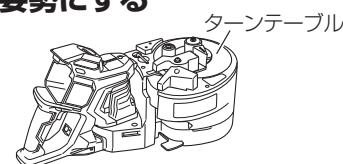
1 バッテリーカバーと蓄電池を取りはずす



2 スイッチロックを確認する



3 ターンテーブルを上にした姿勢にする



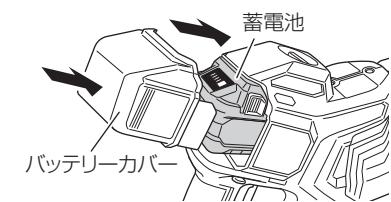
!警告

曲げ作業時でも、カッタが動いています。事故防止のため、カッタ部のカバーは閉めてください。

4 カッタ部のカバーが閉じられていることを確認する

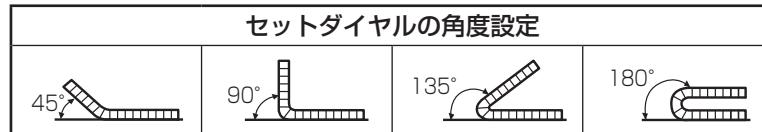


5 蓄電池・バッテリーカバーを取り付ける



6 曲げ角度をセットする

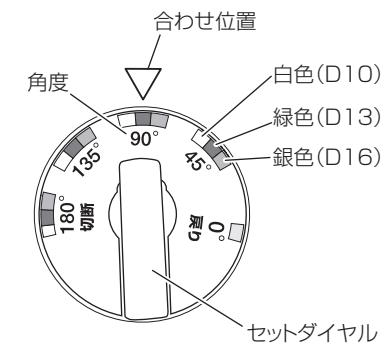
曲げる鉄筋のサイズ色と角度を、セットダイヤルで合わせてください。



【鉄筋サイズの合わせ方】

同じダイヤル位置でも、鉄筋の太さの違いにより、曲げ角度に差が生じます。曲げる鉄筋のサイズ色でセットダイヤルの角度を合わせてください。

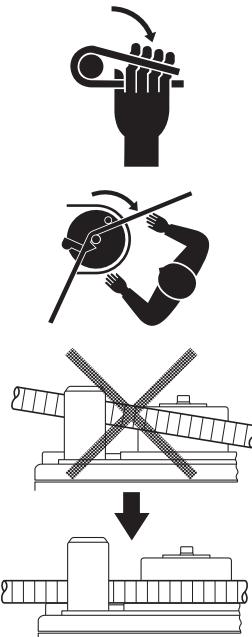
鉄筋のサイズ	表示マークの色
D 10 mm	白色
D 13 mm	緑色
D 16 mm	銀色



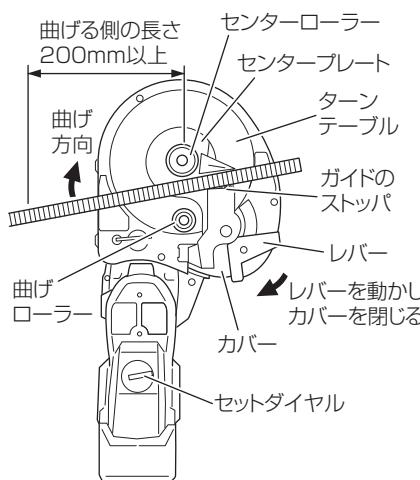
注 鉄筋径や鉄筋材質のばらつきによっては、同じダイヤルセット位置でも曲げ角度が異なる場合があります。合わせ位置は、目安として微調整してください。

⚠警告

- 運転中は、曲げローラー部に手を近づけないでください。
- 鉄筋の端部同士が接近する位置には、手を添えないでください。
大きな角度に曲げると、折り返しにより鉄筋の端部同士が接近して、手を挟み込む恐れがあります。
- 曲げ材料の旋回範囲に人がいないことを確認してから、作業してください。
- 曲げる側の鉄筋長さは、最低 200 mm 以上確保してください。
短いと曲げ加工中に鉄筋がはずれたり、折れて飛散する恐れがあります。(7の図参照)
- 鉄筋は、センタープレートの上に置き、ターンテーブルの面とほぼ水平になるようセットしてください。
鉄筋を上に傾けたままセットして曲げると、曲げ途中に、鉄筋が曲げローラーからはずれ、飛散する恐れがあります。



7 鉄筋をガイドのストップに当て、正しくセットする



8 曲げる

スイッチロックを押してロックを解除し、スイッチを引いて鉄筋を曲げます。
鉄筋の曲げが終了しても、そのままスイッチを引き続けるとモーターが逆回転して曲げローラーが戻り始めます。
戻り始めたら、スイッチをはなしても曲げローラーは自動で元の位置まで戻ります。
(P.16「スイッチの操作について」参照)

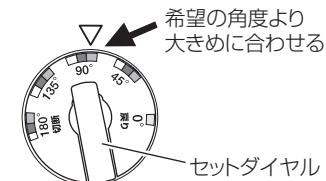
●マニュアルモードでの曲げ方法

この機体は、無段変速スイッチを採用していますので、"ダイヤル設定による曲げ"の他、目測で希望の角度に鉄筋を曲げることができます。

P.23「通常の曲げ方法」の手順①～⑤の後、以下に従ってください。

1

セットダイヤルを希望の角度より大きめにセットする



2

鉄筋をセットし、スイッチロックを解除する

(P.16「スイッチの操作について」参照)

4

曲がり角度を確認する

マニュアルモードスイッチを押して、曲げローラーを少し逆回転させます。



曲がり角度が希望通りであれば、このまま⑤の手順へ進みます。

3

スイッチを引き、希望の角度に来たらはなす

スイッチを引いている間だけローラーが動きます。少しずつ、何度か引いて角度を調整してください。

4

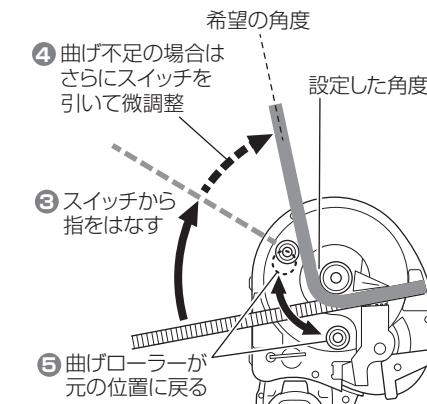
曲げ不足の場合はさらにスイッチを引いて微調整

3

スイッチから指をはなす

5

曲げローラーが元の位置に戻る



5

曲げローラーの位置を元に戻す

鉄筋を希望の角度に曲げ終わったら、逆回転モードのままスイッチを引き続け、ローラーを元の位置に戻してください。

6

マニュアルモードスイッチの逆回転を解除する

曲げローラーが元の位置に戻り停止したら、もう一度マニュアルモードスイッチを押して逆回転を解除してください。



保守・点検

⚠警告

- ・保守・点検の際は、スイッチを切り、スイッチロックをロックの状態にして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- ・保守・点検の際も、保護メガネを使用してください。
鉄粉が目に入る恐れがあります。

●カッタの点検とお手入れ

カッタは鉄筋切断の繰り返しにより刃部に、摩耗・変形・欠け等が生じてきます。このまま使い続けますと機体に損傷を与えるだけではなく、さらにカッタの破片が飛散するなどの恐れがあります。

カッタは約8,000本位の鉄筋切断を目安に新品と交換してください。また使用する前のカッタの状態点検で異常があれば早めに交換してください。

使用後は、特に刃部周辺やターンテーブル上面をブラシ・エアーガンなどで掃除してください。

●グリップラバー、曲げローラーの点検

グリップラバーや曲げローラーが摩耗すると鉄筋を保持しにくくなり、けがなど事故の原因になります

使用する前に点検した際、摩耗していればお買い求めの販売店に交換を依頼してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.10「各部の名称」参照）に、油や水が浸入ないよう十分に注意してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に鉄粉、ほこりが付いていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- ・お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- ・軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- ・温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- ・引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店に相談してください。
また、充電器や蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組で持参してください。

メモ

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	力チックとなるまで蓄電池をさし込んでください。
	逆回転モードのままになっている	マニュアルモードスイッチを押して、逆回転を解除してください。
突然止まった	過負荷になったため、過負荷保護回路が作動した。	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池、または工具本体が過熱状態になつたため温度保護回路が作動した。	蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
スイッチが引けない	スイッチロックの押し込みが足りない	スイッチロックを突き当たるまで押し込んでください。
スイッチを引くと異音(ピー)がする	スイッチの引き量が小さい	故障ではありません。 引き量を大きくすると発生しません。
切断が上手にできない	カッタの摩耗・劣化・破損	新しいカッタに交換してください。
	能力(材質・材料径・加工本数)以外の作業をしている	「仕様」欄を参考にして、正しく切断してください。
切断時、鉄筋が保持しにくい	グリップラバーが摩耗している	新しいグリップラバーと交換してください。 交換の際は、お買い求めの販売店に依頼してください。
曲げが上手にできない	能力(材質・材料径・加工本数)以外の作業をしている	「仕様」欄を参考にして、正しく曲げてください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。